

令和2年度における国保運営方針に基づく取組の進捗状況について

第1章 基本的事項

第2章 国民健康保険の医療に要する費用および財政の見通し

項目	運営方針記載の主な取組等の内容		取組の進捗状況																								
	記載データ																										
1 市町国保の被保険者の状況	・市町国保の被保険者数および世帯数はともに減少傾向	○被保険者の状況 (H22) 190,697 人 (H27) 169,714 人	<引続き減少(H27-元年度 平均 4.1%減)> (H28) 160,973 人 (H29) 153,348 人 (H30) 146,826 人 (R1) 142,068 人																								
		○世帯の状況 (H22) 107,786 世帯 (H27) 102,225 世帯	<引続き減少(H27-元年度 平均 2.7%減)> (H28) 98,650 世帯 (H29) 95,358 世帯 (H30) 92,883 世帯 (R1) 91,129 世帯																								
	・被保険者に占める前期高齢者(65-74歳)の割合は増加	○被保険者に占める前期高齢者の割合 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>福井県</th> <th>全国</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>22年度</td> <td>35.1%</td> <td>31.5%</td> </tr> <tr> <td>27年度</td> <td>44.4%</td> <td>38.9%</td> </tr> </tbody> </table>		福井県	全国	22年度	35.1%	31.5%	27年度	44.4%	38.9%	<引続き増加(H27-元年度 平均 1.6ポイント増)> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>福井県</th> <th>全国</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>28年度</td> <td>46.6%</td> <td>40.5%</td> </tr> <tr> <td>29年度</td> <td>48.6%</td> <td>42.2%</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>49.9%</td> <td>43.2%</td> </tr> <tr> <td>R元年度</td> <td>50.8%</td> <td>43.8%</td> </tr> </tbody> </table>		福井県	全国	28年度	46.6%	40.5%	29年度	48.6%	42.2%	30年度	49.9%	43.2%	R元年度	50.8%	43.8%
	福井県	全国																									
22年度	35.1%	31.5%																									
27年度	44.4%	38.9%																									
	福井県	全国																									
28年度	46.6%	40.5%																									
29年度	48.6%	42.2%																									
30年度	49.9%	43.2%																									
R元年度	50.8%	43.8%																									
2 医療費の動向	・1人当たり医療費および国保医療費総額はともに増加 ・1人当たり医療費は全国平均より高水準で推移	○1人当たり医療費 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>福井県</th> <th>全国</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>22年度</td> <td>323,672 円</td> <td>299,333 円</td> </tr> <tr> <td>27年度</td> <td>381,626 円</td> <td>349,697 円</td> </tr> </tbody> </table>		福井県	全国	22年度	323,672 円	299,333 円	27年度	381,626 円	349,697 円	<引続き増加(H27-元年度 平均 2.4%増)> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>福井県</th> <th>全国</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>28年度</td> <td>389,157 円</td> <td>352,839 円</td> </tr> <tr> <td>29年度</td> <td>395,455 円</td> <td>362,159 円</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>405,741 円</td> <td>367,989 円</td> </tr> <tr> <td>R元年度</td> <td>418,147 円</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>		福井県	全国	28年度	389,157 円	352,839 円	29年度	395,455 円	362,159 円	30年度	405,741 円	367,989 円	R元年度	418,147 円	—
			福井県	全国																							
	22年度	323,672 円	299,333 円																								
	27年度	381,626 円	349,697 円																								
	福井県	全国																									
28年度	389,157 円	352,839 円																									
29年度	395,455 円	362,159 円																									
30年度	405,741 円	367,989 円																									
R元年度	418,147 円	—																									
・1人当たり医療費は市町間で約 1.3 倍の差	○国保医療費総額 (H22) 624.8 億円 (H27) 664.6 億円	<28年度以降、減少傾向で推移> (H27-元年度 平均 2.2%の減) (H28) 647.9 億円 (H29) 624.3 億円 (H30) 613.0 億円 (R1) 605.8 億円																									
	○市町別医療費(千円) (H22) 1位池田町 380 17位小浜市 290 1.31倍 (H27) 1位美浜町 424 17位高浜町 340 1.25倍	<市町間の医療費格差は約 1.3 倍で推移> ○市町別医療費(千円) (H28) 1位美浜町 468 17位高浜町 360 1.30倍 (H29) 1位美浜町 463 17位高浜町 353 1.31倍 (H30) 1位美浜町 485 17位南越前町 382 1.27倍 (R1) 1位美浜町 525 17位高浜町 384 1.37倍																									
3 医療費の将来見通し	・被保険者が減少する一方、高齢化や医療の高度化により1人当たり医療費および医療費総額は増加見込み	○1人当たり医療費 <table border="1"> <thead> <tr> <th>H27</th> <th>H32</th> <th>H37</th> <th>H42</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>38.2 万円</td> <td>41.3 万円</td> <td>44.6 万円</td> <td>49.0 万円</td> </tr> </tbody> </table> ○国保医療費総額 <table border="1"> <thead> <tr> <th>H27</th> <th>H32</th> <th>H37</th> <th>H42</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>664.6 億円</td> <td>708.3 億円</td> <td>694.9 億円</td> <td>716.1 億円</td> </tr> </tbody> </table>	H27	H32	H37	H42	38.2 万円	41.3 万円	44.6 万円	49.0 万円	H27	H32	H37	H42	664.6 億円	708.3 億円	694.9 億円	716.1 億円									
H27	H32	H37	H42																								
38.2 万円	41.3 万円	44.6 万円	49.0 万円																								
H27	H32	H37	H42																								
664.6 億円	708.3 億円	694.9 億円	716.1 億円																								
4 財政収支の改善に係る基本的な考え方	(市町) ・一般会計からの法定外繰入や繰上充用(過年度累積赤字)によらず、当該年度の収支の均衡を保持 (県) ・必要以上に黒字幅や繰越金を確保することがないよう、市町の財政状況を見極めながら、バランスのよい財政運営を実施	○国保財政の状況 ・単年度収支差(単年度収入-単年度支出) (H22) ▲1,744 百万円 【黒字 5 市町、赤字 12 市町】 (H27) ▲149 百万円 【黒字 6 市町、赤字 11 市町】 ・形式的収支差(収入合計-支出合計) (H22) ▲2,238 百万円 【過年度累積赤字を除く収支差: +505 百万円】 (H27) ▲1,919 百万円 【過年度累積赤字を除く収支差: +1,030 百万円】 ※形式的収支には、基金等繰入金、繰越金、過年度累積赤字を含む。	<単年度収支・形式的収支とも黒字傾向に改善> ・単年度収支差(単年度収入-単年度支出) (H28) +1,253 百万円 【黒字 11 市町、赤字 6 市町】 (H29) +2,344 百万円 【黒字 13 市町、赤字 4 市町】 (H30) +1,199 百万円 【黒字 12 市町、赤字 5 市町】 (R1) ▲265 百万円 【黒字 5 市町、赤字 12 市町】 ・形式的収支差(収入合計-支出合計) (H28) ▲590 百万円 【過年度累積赤字を除く収支差: +2,068 百万円】 (H29) +1,363 百万円 【過年度累積赤字を除く収支差: +3,148 百万円】 (H30) +1,397 百万円 【過年度累積赤字を除く収支差: +2,006 百万円】 (R1) +1,059 百万円 【過年度累積赤字なし】																								

<p>5 赤字削減・解消の取組み</p>	<p>・国保財政の安定化に向け、各市町において赤字の削減・解消を着実に推進</p> <p>・単年度で赤字を解消できない市町は、医療費適正化・保険料設定見直し・収納率向上などの対策、赤字解消の目標年次を定めた計画を策定</p> <p>・保険料負担が急増しないよう計画的・段階的に解消を実施</p>	<p>○県内市町国保の赤字の状況</p> <p>・決算補填等目的の法定外繰入 (H22) 833 百万円【4市町】 (H27) 1,621 百万円【8市町】</p> <p>・過年度累積赤字(繰上充用) (H22) 2,743 百万円【1市】 (H27) 2,949 百万円【1市】</p>	<p><決算補填目的の法定外繰入は減少傾向、過年度累積赤字はすべて解消></p> <p>○県内市町国保の赤字の状況</p> <p>・決算補填等目的の法定外繰入 (H28) 583 百万円【6市町】 (H29) 408 百万円【4市町】 (H30) 157 百万円【3市町】 (R 1) 184 百万円【3市町】</p> <p>・過年度累積赤字(繰上充用) (H28) 2,658 百万円【1市】 (H29) 1,785 百万円【1市】 (H30) 609 百万円【1市】 (R 1) なし</p> <p>○赤字解消に向けた取組み</p> <p>・28年度に決算補填等目的の法定外繰入を実施した6市町のうち4市町が、30年度から赤字解消の段階的目標を定めた計画を策定</p> <p>【策定市町】 福井市、敦賀市、越前市、おおい町</p> <p>なお、敦賀市、越前市は30年度で決算補填等目的の法定外繰入を解消。福井市は過年度累積赤字(繰上充用)を解消</p> <p>・残る2町は税率改定により赤字を解消 永平寺町:29年度、越前町:30年度</p>				
<p>6 財政安定化基金の運用</p>	<p>・市町の保険料収納額の不足に対し、貸付・交付を実施</p> <p>・医療給付費の増大による県の財源不足に対し、基金を取り崩して充当</p> <p>・平成35年度までの特例措置として、新制度移行による保険料負担の急激な負担を緩和するために活用</p> <p>【特例基金】</p> <p>(平成30年度運用開始)</p>	<p style="text-align: center;">/</p>	<p>○元年度決算の状況</p> <table border="1" data-bbox="1417 1151 1879 1222"> <tr> <td>市町への貸付・交付</td> <td>該当なし</td> </tr> <tr> <td>県特別会計への繰入</td> <td>該当なし</td> </tr> </table> <p>※基金残高(2年度末見込み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本体基金 10.7 億円 ・特例基金 0.5 億円(公費拡充分を除く) <p>○特例基金の活用状況</p> <p>・令和元年度納付金等算定において、急激な保険料負担の緩和のため、総額1.6億円のうち約1.1億円を活用</p>	市町への貸付・交付	該当なし	県特別会計への繰入	該当なし
市町への貸付・交付	該当なし						
県特別会計への繰入	該当なし						

第3章 納付金および標準的な保険料の算定方法

項目	運営方針記載の主な取組等の内容		取組の進捗状況																																																								
		記載データ																																																									
<p>1 保険料賦課の状況</p>	<p>・1人当たり保険料は上昇傾向</p> <p>・市町の1人当たり保険料は、最高と最低で約1.6倍の差</p>	<p>○1人当たり保険料(平均)</p> <table border="1" data-bbox="850 1789 1291 1893"> <thead> <tr> <th></th> <th>福井県</th> <th>全国</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>22年度</td> <td>85,726円</td> <td>88,538円</td> </tr> <tr> <td>27年度</td> <td>94,700円</td> <td>92,124円</td> </tr> </tbody> </table> <p>○各市町1人当たり保険料の差</p> <table border="1" data-bbox="829 2027 1354 2145"> <thead> <tr> <th></th> <th>最高</th> <th>最低</th> <th>差</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>22年度</td> <td>100,748円</td> <td>59,995円</td> <td>1.68倍</td> </tr> <tr> <td>27年度</td> <td>102,621円</td> <td>63,110円</td> <td>1.63倍</td> </tr> </tbody> </table>		福井県	全国	22年度	85,726円	88,538円	27年度	94,700円	92,124円		最高	最低	差	22年度	100,748円	59,995円	1.68倍	27年度	102,621円	63,110円	1.63倍	<p><税率改定により、引続き上昇傾向></p> <table border="1" data-bbox="1417 1760 1858 1938"> <thead> <tr> <th></th> <th>福井県</th> <th>全国</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>28年度</td> <td>97,496円</td> <td>94,140円</td> </tr> <tr> <td>29年度</td> <td>98,604円</td> <td>95,239円</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>100,171円</td> <td>95,391円</td> </tr> <tr> <td>R元年度</td> <td>101,777円</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p><1人当たり保険料の差は減少傾向で推移></p> <table border="1" data-bbox="1396 1997 1942 2175"> <thead> <tr> <th></th> <th>最高</th> <th>最低</th> <th>差</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>28年度</td> <td>106,007円</td> <td>66,998円</td> <td>1.58倍</td> </tr> <tr> <td>29年度</td> <td>106,990円</td> <td>66,226円</td> <td>1.62倍</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>105,080円</td> <td>70,129円</td> <td>1.50倍</td> </tr> <tr> <td>R元年度</td> <td>112,408円</td> <td>75,547円</td> <td>1.49倍</td> </tr> </tbody> </table>		福井県	全国	28年度	97,496円	94,140円	29年度	98,604円	95,239円	30年度	100,171円	95,391円	R元年度	101,777円	—		最高	最低	差	28年度	106,007円	66,998円	1.58倍	29年度	106,990円	66,226円	1.62倍	30年度	105,080円	70,129円	1.50倍	R元年度	112,408円	75,547円	1.49倍
	福井県	全国																																																									
22年度	85,726円	88,538円																																																									
27年度	94,700円	92,124円																																																									
	最高	最低	差																																																								
22年度	100,748円	59,995円	1.68倍																																																								
27年度	102,621円	63,110円	1.63倍																																																								
	福井県	全国																																																									
28年度	97,496円	94,140円																																																									
29年度	98,604円	95,239円																																																									
30年度	100,171円	95,391円																																																									
R元年度	101,777円	—																																																									
	最高	最低	差																																																								
28年度	106,007円	66,998円	1.58倍																																																								
29年度	106,990円	66,226円	1.62倍																																																								
30年度	105,080円	70,129円	1.50倍																																																								
R元年度	112,408円	75,547円	1.49倍																																																								
<p>2 保険料水準統一の基本的な考え方</p>	<p>・将来的には保険料水準の統一を目指す</p> <p>・これに向け、医療費適正化の取組み、赤字解消、保険料算定方式の3方式への移行などを推進</p>	<p style="text-align: center;">/</p>	<p>※医療費適正化 ⇒ 第6章</p> <p>赤字解消 ⇒ 第2章</p> <p>保険料算定方式 ⇒ 本章5に記載のとおり</p>																																																								
<p>3 納付金の算定方式</p>	<p>○医療費水準</p> <p>・当面は納付金の算定に市町ごとの医療費水準の差を反映(医療費指数反映係数$\alpha=1$)</p> <p>○応能割・応益割の割合</p> <p>・応能割:応益割$=\beta:1$</p> <p>※β:全国平均を1とした場合の本県の所得水準</p>	<p>○年齢調整後医療費指数(H25~27平均)</p> <p>【最高】1.11</p> <p>【最低】0.91</p> <p style="text-align: center;">/</p>	<p>○年齢調整後医療費指数(H29~R1平均)</p> <p>【最高】1.20</p> <p>【最低】0.96</p> <p>○応能割:応益割の割合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H30年度納付金 0.96:1 ・R元年度納付金 0.98:1 ・R2年度納付金 0.99:1 ・R3年度納付金 1.01:1 																																																								

	○賦課限度額 ・政令に定める額	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>医療分</td> <td>後期分</td> <td>介護分</td> </tr> <tr> <td>28年度</td> <td>54万円</td> <td>19万円</td> <td>16万円</td> </tr> </table>		医療分	後期分	介護分	28年度	54万円	19万円	16万円	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>医療分</td> <td>後期分</td> <td>介護分</td> </tr> <tr> <td>29年度</td> <td>54万円</td> <td>19万円</td> <td>16万円</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>58万円</td> <td>19万円</td> <td>16万円</td> </tr> <tr> <td>R元年度</td> <td>61万円</td> <td>19万円</td> <td>16万円</td> </tr> <tr> <td>R2年度</td> <td>63万円</td> <td>19万円</td> <td>17万円</td> </tr> </table>		医療分	後期分	介護分	29年度	54万円	19万円	16万円	30年度	58万円	19万円	16万円	R元年度	61万円	19万円	16万円	R2年度	63万円	19万円	17万円
	医療分	後期分	介護分																												
28年度	54万円	19万円	16万円																												
	医療分	後期分	介護分																												
29年度	54万円	19万円	16万円																												
30年度	58万円	19万円	16万円																												
R元年度	61万円	19万円	16万円																												
R2年度	63万円	19万円	17万円																												
4 激変緩和措置	・制度改革により保険料負担が急増することがないよう、納付金等が一定割合以上増加した市町に対し、6年程度を目途に激変緩和措置を実施		<p>○30年度納付金算定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・28年度比で自然増 1.5%(年)を超えて負担が増加した3市に対し、激変緩和措置を実施 ※激変緩和財源:国調整交付金 <p>○R元年度納付金算定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・28年度比で自然増 2.7% + δ 1.0% = 3.7%(年)を超えて負担が増加した9市町に対し、激変緩和措置を実施 ・30年度比の保険料負担増を全県的に緩和 ※激変緩和財源: 国調整交付金、県繰入金、特例基金 <p>○R2年度納付金算定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・28年度比で自然増 2.7%(年)を超えて負担が増加した6市町に対し、激変緩和措置を実施 ・元年度比の保険料負担増を全県的に緩和 ※激変緩和財源: 国調整交付金、県繰入金 <p>○R3年度納付金算定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・28年度比で自然増 2.6%(年)を超えて負担が増加した2市町に対し、激変緩和措置を実施 ・コロナによる保険料収入の減少への全県的対応 ※激変緩和財源: 国調整交付金、県繰入金 																												
5 標準保険料率の算定方式	<p>・標準保険料率は3方式(所得割・均等割・平等割)により算定</p> <p>・将来的な保険料水準の統一に向けて、各市町において今回の運営方針期間における段階的目標を定め、計画的に3方式への移行を進めるとともに、保険料設定を見直し</p>	<p>○保険料賦課方式(29年度)</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>医療分</td> <td>後期分</td> <td>介護分</td> </tr> <tr> <td>4方式</td> <td>17市町</td> <td>16市町</td> <td>15市町</td> </tr> <tr> <td>3方式</td> <td>0</td> <td>1市</td> <td>2市町</td> </tr> </table>		医療分	後期分	介護分	4方式	17市町	16市町	15市町	3方式	0	1市	2市町	<p>○保険料賦課方式(R2年度)</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>医療分</td> <td>後期分</td> <td>介護分</td> </tr> <tr> <td>4方式</td> <td>13市町</td> <td>10市町</td> <td>8市町</td> </tr> <tr> <td>3方式</td> <td>4市町</td> <td>7市町</td> <td>9市町</td> </tr> </table> <p>○R2年度税率改定実施市町:5市町 引上げ:4市町 引下げ:1市町</p> <p>・R2年度税率改定を行った5市町はいずれも資産割率を引下げまたは廃止し、3方式への段階的移行を実施</p>		医療分	後期分	介護分	4方式	13市町	10市町	8市町	3方式	4市町	7市町	9市町				
	医療分	後期分	介護分																												
4方式	17市町	16市町	15市町																												
3方式	0	1市	2市町																												
	医療分	後期分	介護分																												
4方式	13市町	10市町	8市町																												
3方式	4市町	7市町	9市町																												

第4章 保険料の徴収の適正な実施

項目	運営方針記載の主な取組等の内容		取組の進捗状況																								
		記載データ																									
1 保険料徴収の現状	・市町国保の平均収納率は上昇傾向にあり、全国平均を上回って推移	<p>○収納率(現年度分)</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>福井県</td> <td>全国</td> </tr> <tr> <td>22年度</td> <td>90.88%</td> <td>88.61%</td> </tr> <tr> <td>27年度</td> <td>92.79%</td> <td>91.45%</td> </tr> </table>		福井県	全国	22年度	90.88%	88.61%	27年度	92.79%	91.45%	<p><保険料の収納率は引続き上昇傾向></p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>福井県</td> <td>全国</td> </tr> <tr> <td>28年度</td> <td>93.39%</td> <td>91.92%</td> </tr> <tr> <td>29年度</td> <td>94.03%</td> <td>92.45%</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>94.59%</td> <td>92.85%</td> </tr> <tr> <td>R元年度</td> <td>94.89%</td> <td>—</td> </tr> </table>		福井県	全国	28年度	93.39%	91.92%	29年度	94.03%	92.45%	30年度	94.59%	92.85%	R元年度	94.89%	—
	福井県	全国																									
22年度	90.88%	88.61%																									
27年度	92.79%	91.45%																									
	福井県	全国																									
28年度	93.39%	91.92%																									
29年度	94.03%	92.45%																									
30年度	94.59%	92.85%																									
R元年度	94.89%	—																									
2 収納対策	<p>・保険者規模別に収納率目標を設定</p> <p>・各市町の収納率目標の達成に向け、収納対策を強化</p>	<p>○保険者規模別収納率目標</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">規模</th> <th colspan="2">収納率目標</th> </tr> <tr> <th>第1目標</th> <th>第2目標</th> </tr> <tr> <td>5千人未満</td> <td>95%</td> <td>97%</td> </tr> <tr> <td>5千~1万人</td> <td>94%</td> <td>96%</td> </tr> <tr> <td>1~2万人</td> <td>93%</td> <td>95%</td> </tr> <tr> <td>2~5万人</td> <td>92%</td> <td>94%</td> </tr> <tr> <td>5万人以上</td> <td>89%</td> <td>91%</td> </tr> </table>	規模	収納率目標		第1目標	第2目標	5千人未満	95%	97%	5千~1万人	94%	96%	1~2万人	93%	95%	2~5万人	92%	94%	5万人以上	89%	91%	<p>○保険者規模別収納率目標達成市町数(R元年度)</p> <p>第1目標 … 16市町 第2目標 … 9市町</p> <p>○収納担当職員の資質向上のため、福井県地方税滞納整理機構が実施する滞納整理研修会への参加の働きかけ(R元年度)</p> <p>○市町に対する指導監督により、収納対策の状況を確認し、助言・指導を実施 【R元年度】9市5町に対し実施</p> <p>○各市町の収納対策に係る取組状況や事例をまとめ、全市町に提供し、情報を共有化(R元年度)</p>				
規模	収納率目標																										
	第1目標	第2目標																									
5千人未満	95%	97%																									
5千~1万人	94%	96%																									
1~2万人	93%	95%																									
2~5万人	92%	94%																									
5万人以上	89%	91%																									

第5章 保険給付の適正な実施

項目	運営方針記載の主な取組等の内容		取組の進捗状況
		記載データ	
1 保険給付の適正化の現状	・レセプト点検は国保連合会が一次点検、市町が二次点検を実施。市町の点検体制などにばらつき	(以下のとおり)	

2 レセプト点検の充実強化	<ul style="list-style-type: none"> 市町が行うレセプト点検水準の底上げを図り、効率的に点検が行われるよう支援を実施 全市町において二次点検(内容点検)が行われるよう拡充、共同実施による点検経費の削減・点検項目の標準化を目指し、県と市町で調整 	○レセプト二次点検(内容点検)の共同実施(28年度) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">実施状況</th> <th colspan="2">点検体制</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施</td> <td>14市町</td> <td>委託</td> <td>6市町</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>嘱託</td> <td>8市町</td> </tr> <tr> <td>未実施</td> <td>3市町</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	実施状況		点検体制		実施	14市町	委託	6市町			嘱託	8市町	未実施	3市町			○R2年度の取組状況 <ul style="list-style-type: none"> 市町が共同で二次点検を実施(一括委託)する体制を整備 R2年度参画:15市町 ※28年度未実施の3市町を含む 共同実施により、点検項目の統一および一定の点検水準の確保、点検経費の削減を実現 														
		実施状況		点検体制																													
		実施	14市町	委託	6市町																												
		嘱託	8市町																														
未実施	3市町																																
○医療保険と介護保険の突合情報活用(28年度) <table border="1"> <tbody> <tr> <td>実施</td> <td>12市町</td> <td>未実施</td> <td>5市町</td> </tr> </tbody> </table>	実施	12市町	未実施	5市町	○R2年度の取組状況 <ul style="list-style-type: none"> 介護給付適正化システムから提供される突合情報を活用し、医療と介護の給付に重複がないか等の確認を全市町が実施 																												
実施	12市町	未実施	5市町																														
			○国保医療給付専門員による助言・指導 <ul style="list-style-type: none"> 市町や保険医療機関等からのレセプト内容等に関する疑義に対し助言・指導 																														
3 療養費の支給の適正化	<ul style="list-style-type: none"> 療養費支給事務の標準化や取組事例の情報提供、市町に対する助言・指導等により療養費の適正化を推進 		○療養費に係る事務マニュアルの活用 <ul style="list-style-type: none"> R1に作成した事務マニュアルを活用し、円滑な支給事務を推進 																														
4 第三者行為求償の取組強化	<ul style="list-style-type: none"> 求償事務研修会を実施し、市町が行う強制執行手続きなどの債権管理手法に関する知識習得を推進 	○交通事故による傷病届の損保代行率および提出までの平均日数 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">28年度</th> <th colspan="2">29年度</th> </tr> <tr> <th>損保代行率</th> <th>平均日数</th> <th>損保代行率</th> <th>平均日数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>福井県</td> <td>91.1%</td> <td>65.4日</td> <td>83.8%</td> <td>107.5日</td> </tr> <tr> <td>全国</td> <td>52.6%</td> <td>57.0日</td> <td>59.3%</td> <td>87.5日</td> </tr> </tbody> </table>		28年度		29年度		損保代行率	平均日数	損保代行率	平均日数	福井県	91.1%	65.4日	83.8%	107.5日	全国	52.6%	57.0日	59.3%	87.5日	○交通事故による傷病届の損保代行率および平均日数 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">30年度</th> </tr> <tr> <th>損保代行率</th> <th>平均日数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>福井県</td> <td>98.6%</td> <td>145.3日</td> </tr> <tr> <td>全国</td> <td>56.7%</td> <td>96.7日</td> </tr> </tbody> </table> ○求償事務研修会の実施(R2年度) <ul style="list-style-type: none"> 9月、10月に第三者求償に係る研修会を実施【参加市町数】 9月:15市町、10月:17市町 		30年度		損保代行率	平均日数	福井県	98.6%	145.3日	全国	56.7%	96.7日
	28年度			29年度																													
	損保代行率	平均日数	損保代行率	平均日数																													
福井県	91.1%	65.4日	83.8%	107.5日																													
全国	52.6%	57.0日	59.3%	87.5日																													
	30年度																																
	損保代行率	平均日数																															
福井県	98.6%	145.3日																															
全国	56.7%	96.7日																															
5 県による保険給付の点検	<ul style="list-style-type: none"> 県が広域的・専門的な見地から行う給付点検について市町と協議 		○県による給付点検の実施 <ul style="list-style-type: none"> 同一医療機関で算定回数が定められている診療行為等について、県内市町間で異動が発生した場合にも適切な請求がなされているか、点検を実施 																														

第6章 医療に要する費用の適正化の取組み

項目	運営方針記載の主な取組等の内容		取組の進捗状況																																																
	記載データ																																																		
1 国保医療費の現状	<ul style="list-style-type: none"> 市町国保の1人当たり医療費は、入院(食事療養・生活療養含む)、入院外(調剤含む)いずれも全国平均より高い水準で推移 	<p>○1人当たり医療費〔入院〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>福井県</th> <th>全国</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>22年度</td> <td>138,459円</td> <td>113,769円</td> </tr> <tr> <td>27年度</td> <td>154,717円</td> <td>130,531円</td> </tr> </tbody> </table> <p>○1人当たり医療費〔入院外〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>福井県</th> <th>全国</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>22年度</td> <td>161,292円</td> <td>157,513円</td> </tr> <tr> <td>27年度</td> <td>200,030円</td> <td>188,324円</td> </tr> </tbody> </table>		福井県	全国	22年度	138,459円	113,769円	27年度	154,717円	130,531円		福井県	全国	22年度	161,292円	157,513円	27年度	200,030円	188,324円	<p><引き続き全国平均を上回って推移></p> <p>○1人当たり医療費〔入院〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>福井県</th> <th>全国</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>28年度</td> <td>161,799円</td> <td>133,409円</td> </tr> <tr> <td>29年度</td> <td>165,896円</td> <td>138,503円</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>172,578円</td> <td>142,413円</td> </tr> <tr> <td>R元年度</td> <td>178,510円</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>○1人当たり医療費〔入院外〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>福井県</th> <th>全国</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>28年度</td> <td>199,735円</td> <td>188,311円</td> </tr> <tr> <td>29年度</td> <td>201,621円</td> <td>192,111円</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>203,726円</td> <td>193,504円</td> </tr> <tr> <td>R元年度</td> <td>208,834円</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>		福井県	全国	28年度	161,799円	133,409円	29年度	165,896円	138,503円	30年度	172,578円	142,413円	R元年度	178,510円	—		福井県	全国	28年度	199,735円	188,311円	29年度	201,621円	192,111円	30年度	203,726円	193,504円	R元年度	208,834円	—
	福井県	全国																																																	
22年度	138,459円	113,769円																																																	
27年度	154,717円	130,531円																																																	
	福井県	全国																																																	
22年度	161,292円	157,513円																																																	
27年度	200,030円	188,324円																																																	
	福井県	全国																																																	
28年度	161,799円	133,409円																																																	
29年度	165,896円	138,503円																																																	
30年度	172,578円	142,413円																																																	
R元年度	178,510円	—																																																	
	福井県	全国																																																	
28年度	199,735円	188,311円																																																	
29年度	201,621円	192,111円																																																	
30年度	203,726円	193,504円																																																	
R元年度	208,834円	—																																																	
2 医療費適正化の取組みの現状		(以下のとおり)																																																	
3 医療費適正化に向けた取組み	<ul style="list-style-type: none"> ○特定健診受診率および特定保健指導実施率の向上 ・国保険者努力支援制度や県調整交付金などにより、各市町の受診勧奨・保健指導の実施状況や受診率等の改善状況に応じた財政支援を実施 ・医師会と連携し特定健診実施医療機関による診療窓口での健診受診の呼びかけや、市町などと連携した啓発を実施 	<p>○特定健診の受診率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>福井県</th> <th>全国</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23年度</td> <td>28.4%</td> <td>32.7%</td> </tr> <tr> <td>27年度</td> <td>32.4%</td> <td>36.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>○特定保健指導の実施率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>福井県</th> <th>全国</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23年度</td> <td>28.2%</td> <td>21.7%</td> </tr> <tr> <td>27年度</td> <td>33.8%</td> <td>25.1%</td> </tr> </tbody> </table>		福井県	全国	23年度	28.4%	32.7%	27年度	32.4%	36.3%		福井県	全国	23年度	28.2%	21.7%	27年度	33.8%	25.1%	<p><特定健診は上昇傾向だが全国平均以下></p> <p>○特定健診の受診率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>福井県</th> <th>全国</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>28年度</td> <td>32.4%</td> <td>36.6%</td> </tr> <tr> <td>29年度</td> <td>32.9%</td> <td>37.2%</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>34.6%</td> <td>37.9%</td> </tr> <tr> <td>R元年度</td> <td>35.0%</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>○特定保健指導の実施率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>福井県</th> <th>全国</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>28年度</td> <td>34.6%</td> <td>26.3%</td> </tr> <tr> <td>29年度</td> <td>34.2%</td> <td>25.6%</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>34.8%</td> <td>28.8%</td> </tr> <tr> <td>R元年度</td> <td>35.6%</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>【未受診者への受診勧奨の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かかりつけ医からの受診勧奨を実施するとともに、コロナウイルス感染症の流行状況および国の動向を踏まえ、特定健診等の実施について医師会、市町、保険者へ周知 <p>【財政支援の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定健診受診率および特定保健指導実施率が高い市町に重点的に県特別交付金(2号分)を配分し、インセンティブを強化 		福井県	全国	28年度	32.4%	36.6%	29年度	32.9%	37.2%	30年度	34.6%	37.9%	R元年度	35.0%	—		福井県	全国	28年度	34.6%	26.3%	29年度	34.2%	25.6%	30年度	34.8%	28.8%	R元年度	35.6%	—
	福井県	全国																																																	
23年度	28.4%	32.7%																																																	
27年度	32.4%	36.3%																																																	
	福井県	全国																																																	
23年度	28.2%	21.7%																																																	
27年度	33.8%	25.1%																																																	
	福井県	全国																																																	
28年度	32.4%	36.6%																																																	
29年度	32.9%	37.2%																																																	
30年度	34.6%	37.9%																																																	
R元年度	35.0%	—																																																	
	福井県	全国																																																	
28年度	34.6%	26.3%																																																	
29年度	34.2%	25.6%																																																	
30年度	34.8%	28.8%																																																	
R元年度	35.6%	—																																																	
	<ul style="list-style-type: none"> ○医療費通知の充実 ・医療費通知の実施市町を拡充し、また市町で異なる通知回数を揃えることができるよう、県調整交付金を活用し支援 	<p>○医療費通知の実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>通知</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>24年度</td> <td>16市町</td> <td>年6回 :12市町 年3~5回:4市町</td> </tr> <tr> <td>28年度</td> <td>16市町</td> <td>年6回 :12市町 年3~5回:4市町</td> </tr> </tbody> </table>		通知	回数	24年度	16市町	年6回 :12市町 年3~5回:4市町	28年度	16市町	年6回 :12市町 年3~5回:4市町	<p>○医療費通知の実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>通知</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>29年度</td> <td>16市町</td> <td>年6回 :12市町 年3~5回:4市町</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>17市町</td> <td>年6回 :13市町 年4~5回:4市町</td> </tr> <tr> <td>R元年度</td> <td>17市町</td> <td>年6回 :13市町 年4~5回:4市町</td> </tr> <tr> <td>R2年度</td> <td>17市町</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>【財政支援の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県特別交付金(2号分)の対象に、医療費通知の作成に係る経費を追加 		通知	回数	29年度	16市町	年6回 :12市町 年3~5回:4市町	30年度	17市町	年6回 :13市町 年4~5回:4市町	R元年度	17市町	年6回 :13市町 年4~5回:4市町	R2年度	17市町	—																								
	通知	回数																																																	
24年度	16市町	年6回 :12市町 年3~5回:4市町																																																	
28年度	16市町	年6回 :12市町 年3~5回:4市町																																																	
	通知	回数																																																	
29年度	16市町	年6回 :12市町 年3~5回:4市町																																																	
30年度	17市町	年6回 :13市町 年4~5回:4市町																																																	
R元年度	17市町	年6回 :13市町 年4~5回:4市町																																																	
R2年度	17市町	—																																																	
	<ul style="list-style-type: none"> ○生活習慣病の発症予防と重症化予防の推進 ・福井県版糖尿病性腎症重症化プログラムを策定し、糖尿病等の重症化予防を推進 		<p>【福井県糖尿病性腎症重症化予防プログラムの運用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レセプトから抽出した糖尿病治療中断者のリストを市町に提供し、市町から受診勧奨を実施 ・糖尿病等で腎機能が低下したハイリスク者に対し、市町の要請に応じ管理栄養士を派遣し、効果的、継続的な保健指導を支援 ・市町担当者等を対象にプログラムの運用に係る研修会を実施(R2 1回開催 52名) 																																																
	<ul style="list-style-type: none"> ○適正受診および適正投薬の推進 ・「かかりつけ医」、「かかりつけ歯科医」、「かかりつけ薬局」の定着を図るための普及啓発 ・医薬品の重複投薬や残薬を減らすため、薬剤師会と連携しお薬手帳を普及 	<p>○重複受診・服薬の訪問指導の実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>重複頻回受診者</th> <th>重複服薬者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>26年度</td> <td>10市町</td> <td>5市町</td> </tr> <tr> <td>27年度</td> <td>9市町</td> <td>5市町</td> </tr> <tr> <td>28年度</td> <td>9市町</td> <td>5市町</td> </tr> </tbody> </table>		重複頻回受診者	重複服薬者	26年度	10市町	5市町	27年度	9市町	5市町	28年度	9市町	5市町	<p>○重複受診・服薬の訪問指導の実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>重複頻回受診者</th> <th>重複服薬者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>29年度</td> <td>10市町</td> <td>7市町</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>14市町</td> <td>12市町</td> </tr> <tr> <td>R元年度</td> <td>15市町</td> <td>13市町</td> </tr> <tr> <td>R2年度</td> <td>—</td> <td>12市町</td> </tr> </tbody> </table>		重複頻回受診者	重複服薬者	29年度	10市町	7市町	30年度	14市町	12市町	R元年度	15市町	13市町	R2年度	—	12市町																					
	重複頻回受診者	重複服薬者																																																	
26年度	10市町	5市町																																																	
27年度	9市町	5市町																																																	
28年度	9市町	5市町																																																	
	重複頻回受診者	重複服薬者																																																	
29年度	10市町	7市町																																																	
30年度	14市町	12市町																																																	
R元年度	15市町	13市町																																																	
R2年度	—	12市町																																																	

	・市町における重複・頻回受診者や重複服薬者に対する訪問指導などの取組みを支援し、拡充		<p>【かかりつけ医等の定着を図るための啓発】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かかりつけ医を持つことの重要性等をテーマとしたオンライン講座を開催予定 ・「くすりと健康の週間」に合わせ、かかりつけ薬局・薬剤師を推進するための新聞広告を掲載 <p>【多剤服薬の適正化の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全市町のレセプトデータを基に、重複・多剤の実態を把握し、薬物有害事象を招く事例か否かを検証すると共に、医師や薬剤師など多職種連携の体制について検討 																																													
	<p>○後発医薬品の使用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後発医薬品希望カードの配布や後発医薬品に切り替えた場合の自己負担軽減額の通知(差額通知)などにより、後発医薬品を普及 	<p>○後発医薬品使用割合(数量ベース、年度末)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>福井県</th> <th>全国</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>25年度</td> <td>50.9%</td> <td>51.2%</td> </tr> <tr> <td>27年度</td> <td>61.9%</td> <td>63.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※福井県は国保連集計、全国はレセプト電算処理システムにより処理された調剤分のみ</p> <p>○後発医薬品差額通知の実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>市町数</th> <th>平均実施回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>24年度</td> <td>16市町</td> <td>3.6回</td> </tr> <tr> <td>28年度</td> <td>17市町</td> <td>4.3回</td> </tr> </tbody> </table>		福井県	全国	25年度	50.9%	51.2%	27年度	61.9%	63.1%		市町数	平均実施回数	24年度	16市町	3.6回	28年度	17市町	4.3回	<p>○後発医薬品使用割合(数量ベース、年度末)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>福井県</th> <th>全国</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>29年度</td> <td>73.8%</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>77.4%</td> <td>74.6%</td> </tr> <tr> <td>元年度</td> <td>80.4%</td> <td>77.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※福井県、全国ともに医科入院、DPC、医科入院外、歯科、調剤分のNDBのレセプトから集計</p> <p>○後発医薬品差額通知の実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>市町数</th> <th>平均実施回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>29年度</td> <td>17市町</td> <td>4.3回</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>17市町</td> <td>4.6回</td> </tr> <tr> <td>R元年度</td> <td>17市町</td> <td>4.6回</td> </tr> <tr> <td>R2年度</td> <td>17市町</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>【財政支援の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県特別交付金(2号分)の対象に、差額通知の郵送費を拡充 		福井県	全国	29年度	73.8%	—	30年度	77.4%	74.6%	元年度	80.4%	77.4%		市町数	平均実施回数	29年度	17市町	4.3回	30年度	17市町	4.6回	R元年度	17市町	4.6回	R2年度	17市町	—
	福井県	全国																																														
25年度	50.9%	51.2%																																														
27年度	61.9%	63.1%																																														
	市町数	平均実施回数																																														
24年度	16市町	3.6回																																														
28年度	17市町	4.3回																																														
	福井県	全国																																														
29年度	73.8%	—																																														
30年度	77.4%	74.6%																																														
元年度	80.4%	77.4%																																														
	市町数	平均実施回数																																														
29年度	17市町	4.3回																																														
30年度	17市町	4.6回																																														
R元年度	17市町	4.6回																																														
R2年度	17市町	—																																														
	<p>○データヘルスの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国保データベースの有効活用を図り、市町への助言を行うことで生活習慣病の発症予防や重症化予防の取組みを充実 	<p>○データヘルス計画策定状況(28年度末) 15市町</p>	<p>○データヘルス計画策定状況(29年度末) 17市町 (30年度末) 17市町 (元年度末) 17市町</p> <p>【県国保ヘルスアップ支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国保・後期の医療・介護のレセプトデータや健診データ等を用いて高額医療費発生要因や介護認定要因を分析。その結果を基に、課題に対応した最適な保健事業を再構築するため、個別支援を実施。 																																													
4 医療費適正化計画との関係	・医療費適正化計画に定める取組み内容と整合性を図る		○上記3に記載のとおり																																													

第7章 市町が担う国民健康保険事業の広域のおよび効率的な運営の推進

項目	運営方針記載の主な取組等の内容		取組の進捗状況																
	記載データ																		
1 広域のおよび効率的な運営の推進に向けた取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・市町国保事務のうち、標準的な取扱いや広域的な実施により、事務や経費の削減につながるものについて標準化を検討 ・市町間で運用に差異があり、県内統一した運用が望ましいものは基準を提示 	<p>○被保険者証更新時期等の状況(28年度)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">被保険者証一斉更新日</th> <th colspan="2">高齢受給者証との一体化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月</td> <td>1町</td> <td>実施</td> <td>3市町</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>4市町</td> <td>未実施</td> <td>14市町</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>12市町</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	被保険者証一斉更新日		高齢受給者証との一体化		4月	1町	実施	3市町	8月	4市町	未実施	14市町	10月	12市町			<p>○被保険者証の交付時期の統一等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被保険者の利便性向上や証発行事務の効率化のため、R元年8月から被保険者証と高齢受給者証の一体化を実施 <p>○保険税および一部負担金減免基準例の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被保険者が市町間で転居しても、保険税等の負担が公平になるよう、減免に係る標準的な運用基準例を策定(H30) <p>○葬祭費支給額の統一</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町間で差異のあった葬祭費支給額を5万円に統一(30年4月～) <p>○外国人に係る標準的な資格適用基準例およびDV被害者に係る対応事例集の策定(R1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人やDV被害者の加入、脱退等に関する事務処理について適用基準例および事例集を作成 <p>○高額療養費の支給勧奨に係る標準的な運用基準例の策定(R1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請手続きの簡素化、被保険者サービス向上の観点から、自己負担限度額等の必要事項をあら
被保険者証一斉更新日		高齢受給者証との一体化																	
4月	1町	実施	3市町																
8月	4市町	未実施	14市町																
10月	12市町																		

			<p>かじめ記載した支給申請書を被保険者に送付、窓口へ提出してもらってターンアラウンド方式での支給勧奨を原則とし、添付書類の取扱いを統一化</p> <p>○療養費に係る事務マニュアルの策定(R1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 療養費に関する申請書の様式や添付書類について、市町間で異なっているため、被保険者が市町間で住所異動をした場合においても、共通の事務手続きとなるよう事務マニュアルを策定 <p>○県内保険医療機関等に係る不正利得の回収に係る事務処理規約の策定(R1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 県が市町から委託を受けた場合に実施する不正利得の回収に係る事務について、必要な事項を定めた事務処理規約を策定 <p>○第三者求償の対象者抽出・確認方法マニュアルの策定(R2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 第三者求償に係る作業を全市町で統一的に実施するためのマニュアルを策定 <p>○福井県国民健康保険事務処理標準マニュアルの策定(R2)</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでに策定した各種運用基準例やマニュアルを1冊に整理し、実際の事務で活用
--	--	--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

第8章 保健医療サービス・福祉サービス等に関する施策との連携

項目	運営方針記載の主な取組等の内容		取組の進捗状況
		記載データ	
1 保健医療サービス・福祉サービス等との連携	・国保データベース(KDB)システム等の活用による市町保健事業への支援		<p>・KDB システムから抽出した市町毎の医療費等データをグラフ化し、提供</p> <p>【県国保ヘルスアップ支援事業】</p> <p>・国保・後期の医療・介護のレセプトデータや健診データ等を用いて高額医療費発生要因や介護認定要因を分析。その結果を基に、課題に対応した最適な保健事業を再構築するため、個別支援を実施。〔再掲〕</p>
2 他計画との整合性	・県は広域的な保険者として、本運営方針と県の老人福祉計画・介護保険事業支援計画、元気な福井の健康づくり応援計画、医療費適正化計画などとの整合性を図り、関連する保健・医療・福祉サービスを推進		・第6章に記載のとおり、医療費適正化の取組を推進

第9章 施策実施のために必要な関係市町相互間の連絡調整

項目	運営方針記載の主な取組等の内容		取組の進捗状況
		記載データ	
1 施策実施のために必要な関係市町相互間の連絡調整	<p>・福井県国保運営方針連携会議において県・市町・国保連の意見調整を実施</p> <p>・福井県国保運営方針の3年ごとの検証・見直し</p>		<p>○連携会議の開催状況(R2 年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> 連携会議 (4月・6月・11月(2回)・1月の5回開催) 担当者会議 (10月・3月の2回開催)